

□内容

このまとめ資料は、一級建築士設計製図試験対策で直前対策セミナー・コース生用に資料としてまとめたものです。
最終まとめ動画は、10月1日金曜日夜までにアップ予定です。

<http://seizushiken.com/goto2021matomenu/>

1. 合格するために必要なことと製図試験のポイント
2. 過去課題にみる合否ポイント、
3. 本年度課題分析、失格項目整理、出題パターン、逃げの一手
4. 本試験想定イメージ
5. 最終チェックリスト

1. 合格するために必要なこと

- ① 試験のしくみからみた、合格するための4つのポイント
 - ・失格にならないこと 失格者(ランク4)にならないければ残りの半数が合格する試験。
 - ・大枠をはずさないこと 主条件・ゾーニング(+動線)を守って、完成させる試験。
 - ・常に減点に強い図面/要点をめざすこと 不合格になりにくい、読みオトシのない抜けのない図面/要点。
特に数字(面積・距離)、あるなし、法規(採光、道路斜線、竪穴・面積区画、2方向避難、延焼ライン)
 - ・そして、完成していること。
- ② そのための考え方として
 - ・合格するのは、問題文の意図を理解して図面化した図面。その理解をさらに要点でアピールする。
 - ・迷う点、あいまいな点、記述があるべきであるのに表現されていない点は全て、合否ポイントである。
 - ・必要なのは、題意を解釈して、理屈として解けていること(論理的整合性)。
 - ・「エスキースで解く」という**攻め**の部分と、「作図でもれなく描く」「要点で説明する」という**守り**のイメージを!
- ③ 重要な当日のタイムスケジュール

6時間半をいかに有効に使うかが勝負の決め手。そのため、時間調整できることは、試験の合格要件である。

 - ・2時間エスキース → 90分エスキース: エスキースをまとめるひとつの目安(スケルトンイメージ)
→ 30分の調整しろ(バッファ)
 - ・1時間計画の要点 → 1時間以内でまとめ上げること。
 - ・3時間製図 → 要求図面等のみを忠実に押さえること。(目標! 最小限図面)
 - ・30分の見直し → 見直して10点違う。「点を拾いにくい感覚」があるか否か。
設計する視点ではなく、施主としてイチャモン(文句)を付ける視点で図面チェックすべし。
- ④ これから試験日までの残りのまとめ、時間の使い方
 - ・使えるツールを精査し、まとめること。そのために今までの課題をもう一度縦覧する=縦に観ること。
常に課題を 基本+その課題の特殊解 として整理しながら観る、まとめること。
製図試験.com 的に「建築する」とは、「集めて → 分類して → 決定する」プロセス
つまり、「今までの課題を全部集め、各部位ごとにチェックし、いつもと同じ部分と異なる部分を整理し、
使えるようにまとめなおすこと」を「縦に観る」と言っています。
 - ・今から新たな課題は、攻められる状態で無い限りはしない。(混乱するだけの場合が多い→80%のクールダウンへ)

2. 過去課題にみる合否ポイント

□イメージしておいていただきたい過去課題7つの難度パターン

注意しておきたいのは、難しさが発生する時間帯が異なること、様々な波が2度3度と訪れるであろうこと。

| | ポイント発生時間 | 直後 読解 エスキース プランニング 作図 |
|-------------------------------|----------|-----------------------|
| ① 筆記過多系 h15/h16/h20/h23/r02 | | |
| ② パニック系 h12/13/16/17/18/20/30 | | |
| ③ 読解難系 h15/16/20/23/30 | | |
| ④ スパン難系 h5/15/20/h29/r01 | | |
| ⑤ プランニング系 h15/16/20/r02 | | |
| ⑥ ゆるゆる系 h18/19/21/r01/ | | |
| ⑦ 提案要点系 h24/h29/h30 | | |

3-1. 本年度課題について (製図試験.com 的課題分析)

本年度課題名 [集合住宅] について、現時点での重要な点を以下の10点のポイントにまとめました。

- | | | | | |
|----------|-------------|------------|---------|-------------|
| ① 住戸プラン | ② 住棟配置(基準階) | ③ 1階Eホール周り | ④ 付帯施設 | ⑤ 複合施設系 |
| ⑥ 法規チェック | ⑦ 構造・設備関連 | ⑧ 計画の要点 | ⑨ パニック系 | ⑩ 初歩的ミス・その他 |

① 住戸プラン

住戸プランはもう何も見なくても2分以内で描けるようになってきているでしょうか。特にパターン認識をすることで、変形することができるようにしておきましょう。h29h30以来出題されていないコンセプトルーム系の出題が住戸で提案として求められる可能性があります。ポイントはこれは時間稼ぎだということ。時間を使わせるのが目的なのでサクッと逃げてください。整理としては、

- 1) 2面採光、1面採光、側面採光

- 2) 間取構成と規模 (1K~4LDK+S, 40~120m²) 3) スパンと廊下バルコニー-in/out

で自在に使いこなせるようにしておきましょう。(標準: 2面採光、3LDK、80m²、7x7x2、廊下inバルコニー-out) また、下図のように住戸内をパーツ化することで早く組み立てられるようになります。

① 構成で外か分ける
1k 1LDK 2LDK 3LDK 4LDK+S
40 40-50 60-80 70-100 80-120

② 面積でスパンと廊下バルコニー-in/outの調整を考へる

③ 2面採光位置と1面採光位置を押しやる

④ プランは原則センター廊下振分パターン

⑤ PSはが柱の柱にかぶせるパターンを使う→IFプランを考へる

⑥ 常に最小限寸法を押し立てて計画する

⑦ 特殊パターンはコア/廊下もトド理解して暗記する

常にmin. 最小限寸法をききよう。1/100 (基準)

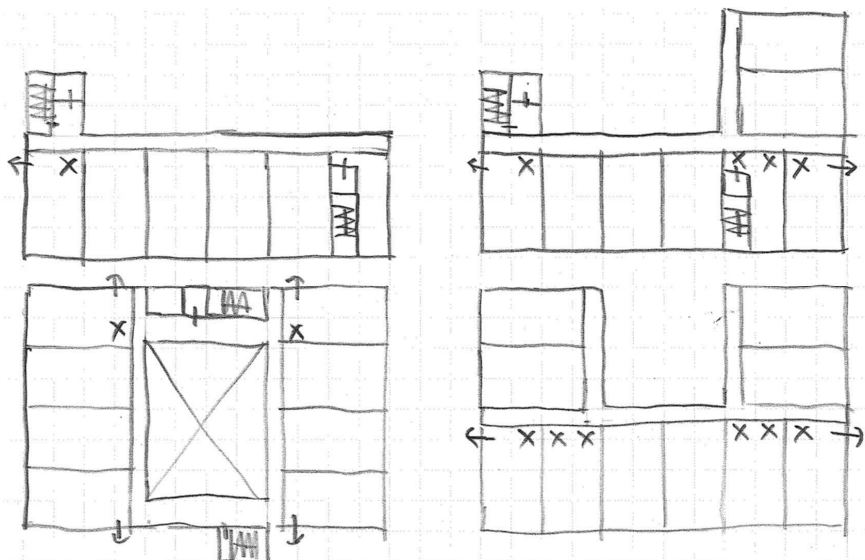
2x3, 2x4, 2.5x3, 3x4 | この4パターンのみ!

②住棟配置(基準階)

本年度の第1印象は住棟計画で決定づけられます。住棟計画なくして合格なし。住棟計画ができていのかどうかは、

- 1) 型どおりプラン
(多少の変形はOK)
- 2) 住戸数/階の選択
- 3) 周辺環境との齟齬がないか。
(プランから周辺環境がわかるか)

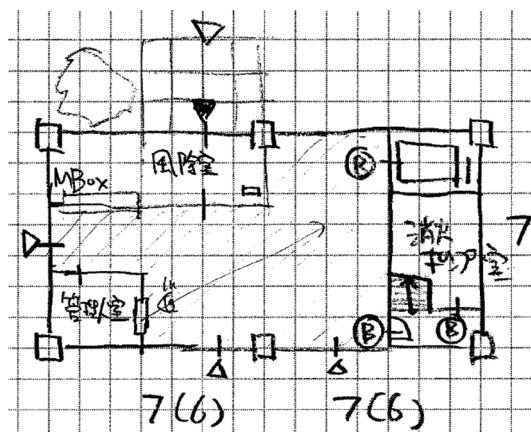
特に3)については、R02本試のような四面楚歌敷地の可能性もあります。有効4m以上の窓先空地を設けて、無理矢理計画する可能性もゼロではないと考えておいた方がよいと思われます。



③1階エントランスホール周り

1階のエントランスホール周りは、住宅利用者の様々な動線が存在しています。これらを振り分けられるパターン+基準階でのコアパターンをセットにして理解しておく必要があります。

- 1) 歩行者動線+オートロック
- 2) EV+階段
- 3) 郵便受+宅配ボックス
- 4) 管理人室
- 5) 駐車場
- 6) 駐輪場
- 7) ゴミ置場動線
- 8) 集会室・広場系



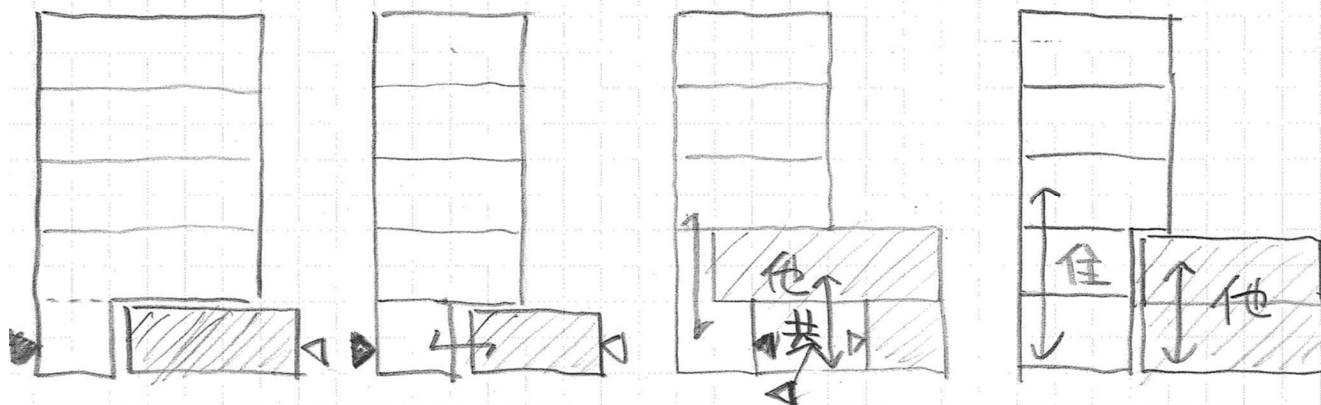
④付帯施設

付帯施設には、上記の集会室、駐車場、駐輪場の他、広場などがあります。集会室は、居住者専用、一般利用も可能、誰でも利用可能があります。駐車場、駐輪場は、台数とレイアウトをパターン化して持つておくこと。特に駐車場については、屋外駐車場、ピロティ駐車場、地下駐車場の3パターンを台数とセットで練習して覚えておく必要があります。

⑤複合施設系

本年度は「集合住宅」という課題名なので、h21以降のシンプルな構成の出題が本命ですが、資格学校を中心に複合施設系の課題を行っているため、弊社も泣く泣く複合施設問題を取り上げました。複合施設のタイプとしては以下の4つに分けられます。タイプを間違えると即不合格になる可能性が高いので要注意です。

見分け方は、 1) 他施設があるのか 2) 共用エントランスかどうか 3) 内部動線で繋がっているのか 4) 2つのEホールになっていないか です。



本命：集合住宅+店舗程度 h18型集合住宅+施設 h27型共用Eホール 完全独立 (h13・第4課題)

⑥法規チェック

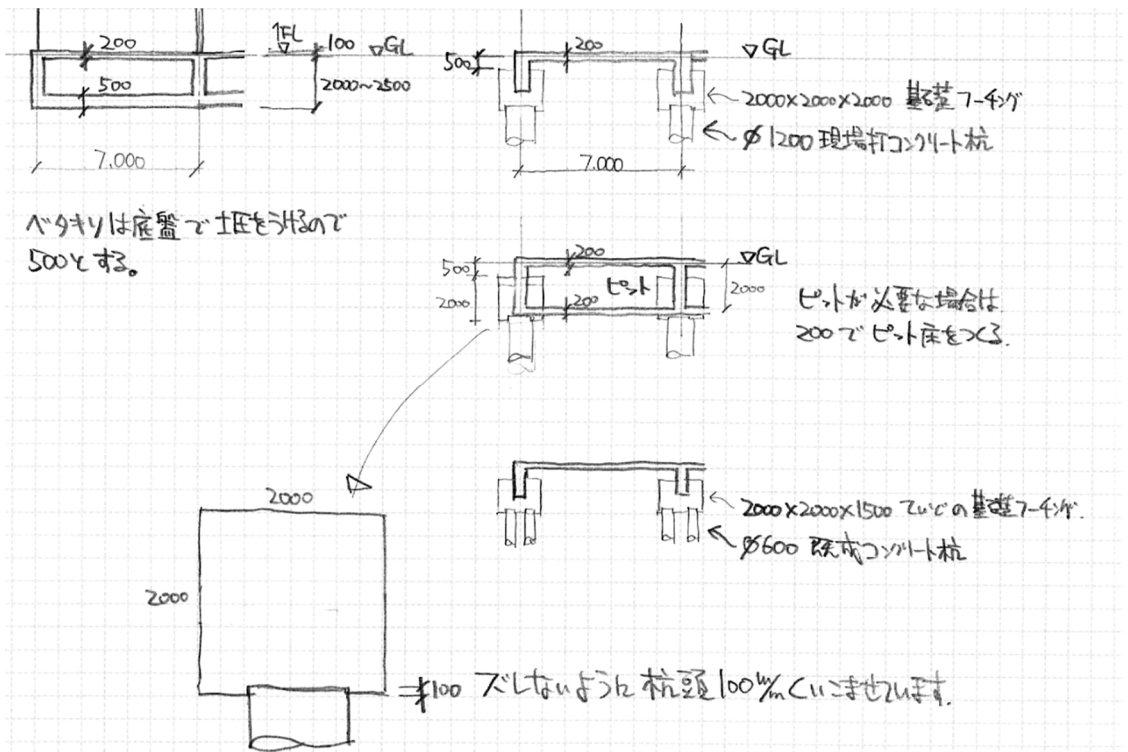
最重要項目なので、最終頁にチェックリスト提示します。

⑦-1 構造・基礎選定

基礎については、直接基礎（原則バタ基礎）と杭基礎があります。

N 値 30 以上の支持地盤が GL-3m 程度なら浅層改良、3m から 10m なら柱状改良の上バタ基礎とし、10m 以上なら杭基礎とします。斜面処理については、上記③の通りですが、地中梁底が、支持地盤から出ないように根入れ深さには注意してください。

片持ち梁、大空間については、ステップスペースの P99 を参考にしてください。



⑦-2 設備関連

空調設備

空調設備は、住宅はルームエアコン + 24 時間空調（第 1 種機械換気、第 3 種機械換気） + 浴室便所キッチン換気です。その他の部分については、空冷 HP パッケージ方式で、天井高さが 4m 以上なら床置きダクト接続型、吹抜けであればエントランスホール天井隠ぺいダクト接続型、その他は天カセとなります。換気は + 全熱交換器による換気としてください。

電気設備

集合住宅の場合は電気室 20m²、2100m² 以上の場合は 40m²（自家発電装置込）原則付帯する商業施設等が 500m² 以下であればキュービクルは使いません。使う場合も 1 階か 2 階の屋上に配置 + EPS となります。

給排水設備

給水：ポンプ圧送方式（受水槽使う） or 水道直結増圧方式（受水槽なし）

排水：各住戸に横引きを考えて中央部水回り近くに PS で横引きは 1 スパンまで。1 階は上階と系統を分けること。

昇降機設備

円滑化基準までは 2x3m シャフトで可能。住宅用 13 人乗り 1100x2000 施設用 11 人乗り 1400x1350

誘導基準の場合は 2.5mx3m シャフトが必要

給湯設備

給湯はガス給湯器なら MB 内に、HP 式ならバルコニーに貯湯槽と共に設ける。

⑦-3 建築環境負荷低減関連

大きくは太陽光、太陽熱、通風というキーワードとそれに対して、夏期、冬期、季節のよい時期においてどのような効果を発揮するのかをまとめておけばよいです。加えて、図示できるようにしておいてください。

またこれらの内容は SDGs の内容としても使うことができます。

| | クーリング（夏期） | ヒーティング（冬期） | 具体的な対策 |
|-------|----------------------------|------------------------|----------------------------------|
| 太陽光 | 日射は遮り、光は入れる | 日射も光も取り入れる | バルコニー、ルーバー、庇 |
| 太陽熱 | 日射・熱共に遮る 室内に熱を入れない逃がさない | 日射は取り入れる 室内の熱を逃がさない | 太陽熱パネル 断熱、ペアガラス、屋上緑化 |
| 通風・地熱 | アースチューブ 井水による同方法 | アースチューブ 井水による同方法 | 夏期の通風：ハイサイドライト、 トップライト（高窓、天窗） |

⑧計画の要点対策

- ・暗記集基本は、<https://seizushiken.com/wp2018/wp-content/uploads/2020/09/youten-std.pdf>
- ・本年度版：<https://seizushiken.com/wp2018/wp-content/uploads/2021/09/20210923-youten02.pdf>

■知っている知識以上を計画の要点が求めてきたら。

建築計画原則に基づくこと。利用者が使いやすく、管理者が管理しやすく、というルールを念頭に置いて記述すること。

具体的に書けなくても、その2点については、理由として書けるはず。また、知っている知識を全て動員することは当たり前だが、知らないことまで知っているように書くと、かえって墓穴を掘る可能性があるので注意。

建築計画の要である動線・ゾーニング計画は、「建築計画の5原則」で考えて整理しておきましょう。

- ①わかりやすく、管理しやすいこと ②わかりやすい＝動線が短い、混ぜない ③管理しやすい＝目視・死角が少ない
 - ④量、頻度、不特定度が高い、多いものをより優先する ⑤建築形状、各階バランスに配慮
- また住戸を含むプライベート空間については、「快適性」「セキュリティ」でほぼ説明できるはず。

さらにわからないからといって絶対に空欄にしないこと。

<心がけとして>

本試験では、今まで想定もしていなかったことが、何点か含まれている。

初めての記述、意味不明な記述には十分注意しつつ、時間内に判断することが求められている。

気をつけるべきは、そのことで不用意に時間を取られすぎないこと。

本試験は時間との勝負であることを忘れないこと。

あなたがわからないことについては、他の受験生もわからない可能性が高い。とするとそれではあまり差が付かず、結局、基本が崩れた方が、減点が大きくなり不合格になる。難しいと感じる問題ほど、基本を大切にしよう。

⑨パニック系

観たことないものを出题することで、受験当日パニックに陥れるパターン

| | | |
|------------------------------|-------------|--------------|
| R02：四面楚歌敷地 | H30：用紙A2 | H21：変形敷地 |
| H20：エスカレーター、ペDESTリアンデッキ、4 EV | | H18：地下駐車場 |
| H17：既存建物・保存木 | H16：屋外自由通路 | H14：吹抜けに木 |
| H13：プラザ・モール | H12：敷地内レベル差 | H10：オープンスペース |

⑩初歩的ミス・その他

今年の添削を俯瞰する限り気がついたことも含めて。全体的に初歩的なミスで減点を受けている答案が非常に多かったです。

- 1) 不一致：配置図-平面図不一致、平面不一致、平断不一致、下屋描き忘れ、基準階範囲、コア、吹抜け・・・
- 2) 室抜け：**住戸数・室名間違い**！階に便所なし、機械関連室抜け、地下1階抜け(階段、ドライエリア、範囲他)
- 3) 面積ミス：ピロティ面積ミス、吹抜け引き忘れ、階段吹抜け忘れ →**求積図**を作る！必ず違う方法で検算すること

- ・用紙に入らないエスキースをして、作図で苦戦する方が散見されます。レイアウトの確認を事前に行ってください。
- ・問題が平易であるのにエスキースに時間をかけすぎると、見直し時間で差がついてしまいます。
- ・1階のプランを大切にすぎると、メインコアサブコアの配置が、2階、3階で乱れている方が多い。
- ・面積の読み間違いが多い。Exp：ロッカー室一男女計50m²を各々50m²とした。

3-2. 失格項目の整理

平成21年度の新試験制度から、足切り点が設定されています。
押さえておく必要があると思われる失格項目を解説しておきます。

未完

少なくとも時間管理することで、未完を防いでください。
計画の要点は、1問の空欄でも失格。

上下階不一致（階段、吹抜、建物外形、下屋）

上下階不一致するのは、①柱・寸法を描く時の写し間違い
②突然間違いを見つけた際の変更 しかありません。
このタイミングでのチェックを忘れないように。
またレベル、配置図・平面図不一致にも気をつけたい。

設計条件違反

□ I 設計条件及び4.留意事項で指摘している具体的な事項に
対して、違反している場合、失格の恐れがあります。

面積違反

□ 面積オーバー／アンダーで失格にさせる可能性あり。
□ 加えて、建ぺい率70%以下の場合には、建ぺい率でのオー
バーも視野にいれましょう。

階数間違い

断面間違い・地下1階の面積・範囲指定と断面には最大限要注意

法令違反

□ 集団規定：建ぺい、容積、絶対高さ指定もあり。
道路斜線は2Aかつ35mで逃げられる可能性あり
□ 単体規定：2方向避難（60/30）+無窓(40/20)
防火区画、延焼ラインと妻側・廊下・採光はセットで。

動線・ゾーニング違反

□ 利用者、管理者が非常に不明瞭なもの
□ 集合住宅とその他の動線交錯には注意+頻度も考えよう

エレベーター設置違反

□ 台数、部門指定、用途指定ありの可能性。
エレベーターは、必ず記述に従うこと。

構造／設備

□ 著しい理解不足については、失格になっています。
基本的なメンバーリストは右表の通り

その他過去の本試験で失格になっているもの
著しい設計条件違反は失格となりますが、
意外な項目での失格があります。

- 要求室天井高さ指定違反(吹抜含む)
- 上階での吹抜と屋根の描き間違い
- 主要な要求室の欠落（特に1階便所）
- 図面枠の外に図面を描いたもの
- 要求室面積のごまかしが著しいもの

標準的な梁寸法

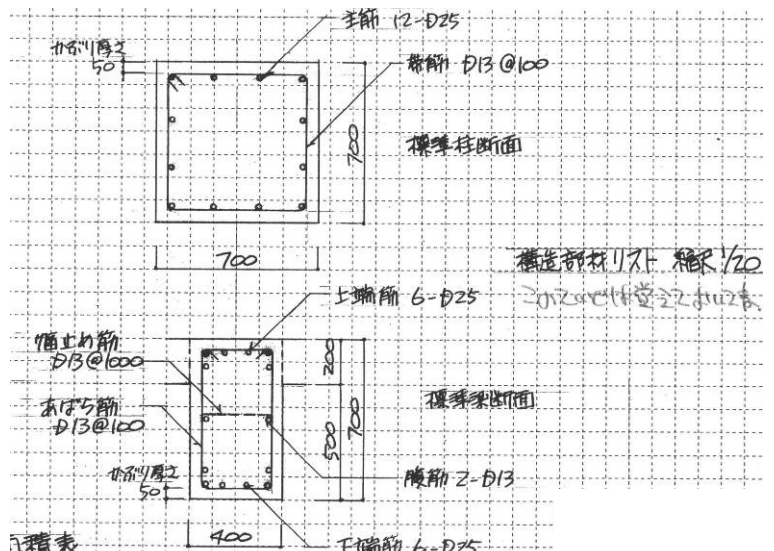
| | スパン | B×D(幅×せい) | 備考 | |
|-----|----------|-----------|---------|---------|
| RC | 6 | 350×600 | 1/10 | |
| | 7 | 400×700 | 1/10 | |
| | 8 | 450×800 | 1/10 | |
| | 9 | 500×900 | 1/10 | |
| | Pc | 8 | 350×700 | PRC1/12 |
| | | 9 | 400×750 | PRC1/12 |
| 10 | | 450×850 | PRC1/12 | |
| 11 | | 500×950 | PRC1/12 | |
| 12 | | 500×1000 | PRC1/12 | |
| 13 | | 450×900 | PC1/15 | |
| 14 | 500×950 | PC1/15 | | |
| 15 | 500×1000 | PC1/15 | | |
| 16 | 550×1100 | PC1/15 | | |
| 17 | 600×1150 | PC1/15 | | |
| 18 | 600×1200 | PC1/15 | | |
| SRC | 7 | 500×700 | 1/10 | |
| | 8 | 500×750 | 1/11 | |
| | 9 | 500×800 | 1/12 | |
| | 10 | 500×850 | 1/12 | |
| | 11 | 550×900 | 1/12 | |
| | 12 | 600×1000 | 1/12 | |
| | 13 | 600×1100 | 1/12 | |
| 14 | 650×1200 | 1/12 | | |

| | スパン | 断面 | 備考 |
|----|-------------|-------------|------|
| S | 7 | H-500×300 | 1/15 |
| | 8 | H-600×300 | 1/15 |
| | 9 | H-600×300 | 1/15 |
| | 10 | H-700×300 | 1/15 |
| | 11 | H-800×300 | 1/15 |
| | 12 | H-800×350 | 1/15 |
| | 13 | H-900×350 | 1/15 |
| | 14 | H-1000×350 | 1/15 |
| | 15 | H-1000×350 | 1/15 |
| | 16 | BH-1100×400 | 1/15 |
| 17 | BH-1200×400 | 1/15 | |
| 18 | BH-1200×450 | 1/15 | |

標準的な柱寸法

| | 階数 | 寸法 | 備考 |
|-----|-----|-----------|----|
| RC | 5以下 | 700×700 | |
| | 6以上 | 800×800 | |
| SRC | 5以下 | 800×800 | |
| | 6以上 | 900×900 | |
| S | 5以下 | □-500×500 | |
| | 6以上 | □-600×600 | |

※ロングスパンの両側の柱は1サイズアップ



もしもの時について。

あまり文字にして残したくないのですが、とっさのトラブルの際の手段として、持っておくと護身用にはなるかな、と。

1) エスキースで面積問題の際 (今年は特に、各 \odot m²、計 $\odot\odot$ m²での間違いが多い)

- ・平屋があれば、その部分からスパンを短くする
- ・共用部だけのスパンがあればそのスパンを短くする
- ・セットバックできる部分はセットバックする (入玄関にして、風除室前を減ずる等)
- ・-10%の範囲で要求室を小さくする
- ・要求されていない室をやめる (特に機械室・電気室・受水槽室・管理諸室)
- ・要求室のうち、50m²以上のものは欠落すると失格と置いて下さい。
- ・ $\odot\odot$ m²以上の場合、絶対に以上である必要あり。①内壁壁芯 300ズラシ②外壁壁芯 300ズラシ③壁柱④スパン調整

2) 建ぺい率に掛かることを直前に発見した場合

- ・バルコニー、庇は1m以内にする
- ・平屋があれば、その部分からスパンを短くする
- ・共用部だけのスパンがあればそのスパンを短くする
- ・書き入れ寸法 (図面は修正されてないが、寸法優先で寸法のみ修正されている「書き入れ」) を使う。
修正している図面とは異なる寸法を雲マークで囲み、書き入れ寸法と明記すればOK。面積も全て直すことが条件。

3) 二方向避難ができてない室を発見した場合

- ・屋外階段を設ける。ただし建ぺい率・斜線には注意。(建ぺい率アウトの方がペナルティは重い)
- ・複数ある場合は、バルコニーをまわし (シャンプーハットのように)、バルコニーの1ヶ所に屋外階段を設ける。
二方向避難重複距離はそれでカバーされる。室経由は不可、階段は4つ以上の階段も減点大。

4) エスキースが2時間で納まらない場合

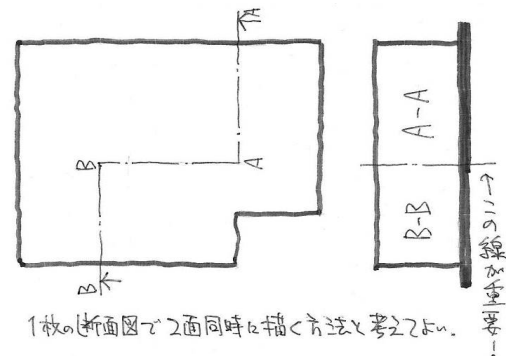
- ・あなただけができないのではなく、まわりもできてない可能性があることを認識。つまり難しいということ
- ・2時間でエスキースを終えるためには、1時間30分の時点でまとまるかまとまらないかを判断する必要アリ。
- ・大空間、共用、管理が納まっていて、スパン及び面積がほぼ確定しているなら、とっとと切り上げる。
- ・便所やEVが納まらないこと、要求室が納まらないことで時間を使いすぎるのはもったいない。時間優先で、1)の方法をとっても、進めることが重要。
- ・EVは最悪二方向出入口EVを利用してOK。・室の比1:2は無視してでもまとめること

5) 断面図で切断位置がうまくいかない場合

- ・「Z斬り!」を使って下さい。ここで表現として重要なのは、必ず断面図に一点鎖線が入ること。一点鎖線を描かずに省略とかで描くと失格になる。

6) 計画の要点でどうしても分からない部分がある場合

- ・時間を取られても仕方ないので、問題文をそのまま写し、その上で、「最適な方法となるよう検討した。」と書く。そのことで時間が取られることが危険。



7) ダメだとしても未完を避けること

室が納まらなくても、建ぺい率や面積などの数字がオーバーしていない限りは、未完でない限り、土俵には残ります。

フリーハンドでもいいので完成させること。諦めたらそこで終わりです。

凡例を押えれば、単線プランでも過去には合格しています。開口部と壁と見え掛かりの線さえ描き分けていたら、単線でも土俵にのります。

8) 意外なようですが・・・。

逃げるときも、心を入れて描く。これは重要です。逃げていた気持ちで描くといいものにならない。

どうせなら開き直って、正々堂々、心を入れて描くことです。特に計画の要点。

採点する相手もまた人間なので、焦って、逃げて、描き殴った図面と、正々堂々と開き直りつつ心を入れていないに描いた図面なら、どちらに軍配が上がるかは明らかでしょう。

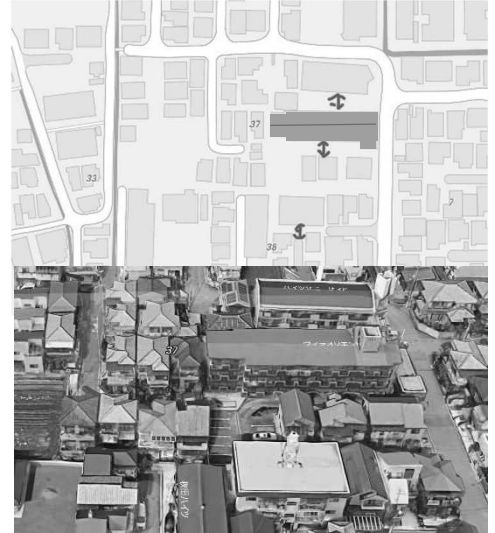
4. 想定される本試験イメージ

- ①解答例がひとつではなく、選択肢が多数ある出題
- ③周辺環境と1階・基準階が問われる出題
- ⑤資格学校があまり手を出していない出題

- ②法規（特に採光）理解がチェックできる出題
 - ④7x7で6x4コマではない出題
- この5点から想定される本試験イメージを作成しました。

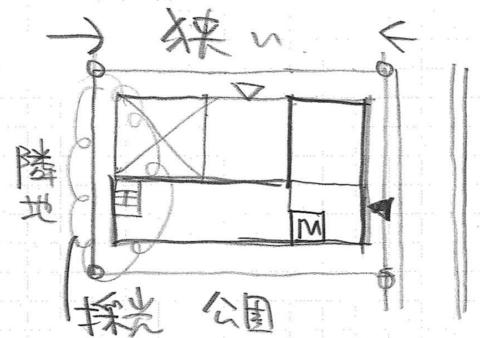
■重要なロケーション

どんな場所に計画されようとしているのか、都心なのか、住宅地なのか、商業地なのか、郊外なのか。設計条件の部分でここをイメージしておきましょう。従来、敷地周辺は、公園＝向けてもよい方向、住宅＝向けてはいけない方向というステレオタイプでした。しかし、実際の集合住宅建設予定地は中層あるいは低層集合住宅地であることも想定されます。つまり南を含め周囲に集合住宅が既にあり、それらと共存するようなケースは考えられます。隣地だけで観ると、住宅に向けない計画が望ましいですが、その地域が全てそうであれば、そこにこだわりすぎると計画できない可能性があります。そういう意味では本年度も四面楚歌敷地の可能性があり、セットバックして窓先空地（最小限4m有効程度）を取って、そこに計画するということになります。（右は大阪府下の第1種低層住宅専用地域の実態）



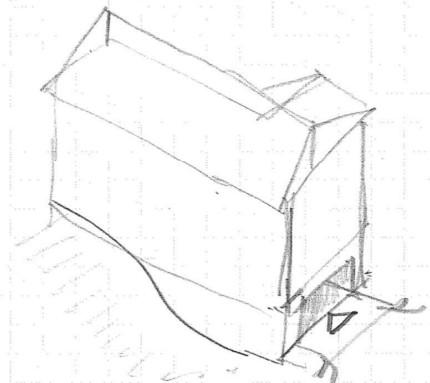
A：採光狙い課題

敷地が妙に狭く、隣地との距離が取りにくいいため、気がつくと、妻側の採光が取れていない課題。また南側も窓先空地の取りにくい四面楚歌敷地である可能性も高い。原則、5-7階建てくらいで、屋外避難階段、屋内避難階段と共に出題したいところ。



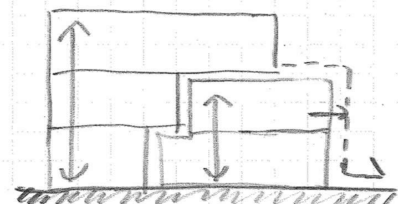
B：ピククリ系課題

勾配屋根、レベル差、保存木等でピククリさせて、イーミーミス、ケアレスミスを狙う問題。しかしこの手の問題の本質は、要求室抜け、採光、延焼ライン、あたりのキープすることに尽きる。この場合恐らく3階建てで出題する可能性大。



C：複合施設としての集合住宅

h27 や h13 のように、2階まで非住宅部門が押し寄せてくるタイプ。ただこれはJAEICにとってもリスクなので、出題されないだろうとは思われる。ただ吹抜け要素や、大空間は出題されるのではないかとと思われるので、そのあたりはまとめておきたい。この場合も恐らく3階建ての可能性が高い。



はじめに

- 体調を万全にしてのぞむ。
- 問題文を読む前に、いつも忘れそうなことを問題文の欄外に書くこと。
- 難しさを測ること-難しさに応じて作戦を変更すること。 -難しさによってタイムスケジュールを変える。
- 知らないことで自分を見失わないこと。自分のパターンに持ち込む。今までやったことのないことは基本的にしないこと。
- 問題文が答え。全て載っている。解答用紙が答え。ココにしか描けない内容しか出題できない。
- パレートの法則：最初の20%で全体の80%が決まる。
- この施設が「集合住宅」であることを忘れないこと、そしてロケーションをイメージすること。**
- 自身の合格を確信し、最後の最後まで絶対諦めないこと。

ES00-01コンセプト条件読解

- 設計条件は絶対遵守。
 - 1) 「**集合住宅**」として、どのような場所に建つ、どのような集合住宅なのかを理解して臨むべし。
 - 2) ESTEP-00 全体構成に影響を与える6点
 - ①**住戸の必要間口数(ノ階)** ②**敷地サイズ** ③**敷地条件(方位・周辺環境)**
 - ⑤**非住宅部門の面積と構成** ⑥**大空間の有無** ⑦**駐車場、広場等の外部条件** 等から基準階イメージを持ってみよう。
- 見慣れた言葉は味方として。見慣れない言葉に最重点注意。
- 設備系の指定には注意 受水槽等。特に**EVの部門・用途設定**は、間違えると失格事項。

ES02要求図書

- 配置図、平面図の特記事項を絶対逃さない。住戸数のナンバーリング、出入口△、代表的な住戸以外の描き込み注意
- 特に目新しい表記、見慣れない指示事項には最大限注意。面積記入・造作記入。切斷位置なども注意しよう。
- 断面図は、切る場所のチェック・切る方向のチェック→用紙に書き込んでおくこと。
- 計画の要点/面積表はできるだけ作図に書くこと。(最後は手が震える)面積はできれば簡単な求積表を作ること。

ES03敷地条件

- 1) 敷地・計画エリア形状 2) 接道条件 3) 隣地条件 4) レベル差他 の4つの視点でチェックする。
 - 敷地形状の確認 (6x7,7x6,7x7のいずれかで、外構空き確保、敷地境界3m※の空き可能か否か) ※階数注意
 - アプローチ道路の確認。また公園等からのサブアプローチはさらに確認!
 - 周辺敷地の優先順位の確認。眺望は指定がない限り配慮しなくてよい。道路をはさんでの環境はあまり重視しなくてよい。
 - 隣接敷地の建物形状まで出題されることもある(H16,H7,H21)
 - 建蔽率70%以下の場合、大きな広場があるか、建蔽率によってコマ数アウト、がでてくるので要注意。
 - 8m以下の道路は道路斜線要注意。住居系1.25。公園、河川は緩和あり。
 - 絶対高さ、後退距離、基礎・地盤支持層等はこの部分に記載してあるので注意すること。

ES04建築物

- 面積除外4項目「ピロティ、バルコニー、塔屋、屋外階段」、ピロティ課題3項目「ピロティ等の屋内的用途の面積算入」以外が本年度は重要。算入しない面積は、ラインマーカーではなく書き出しておくこと。
- 面積計算が伝わりにくい部分については、平面図に面積範囲を記入すること。
- アプローチ指定があるのはたいていココなので、細心のチェック。

ES05その他の施設

- プラザ・広場・オープンスペース等はひさしやピロティ部分を含むかとアプローチに使ってよいか必ずチェック。
- 集会機能が要求される場合は、1:1か1:2が原則。それ以外は1:2ははずしてよい。
- 駐車場は、屋外、ピロティ、地下駐、駐輪場10台～(5mx4m)のパーツを準備しておこう。

ES07要求室

- 面積、室数、諸条件を、間違えたり、忘れたりすると即減点大。
- 住戸基準階は**プランで一旦面積確定しておきたい。可能ならプランイメージも押さえておきたい。**
- 柱の梁受け=構造不安定として絶対に禁止。
- 集会機能が求められる場合、1:2原則だが、高齢者が使う部分は必ずしも守らなくてよい
- コーナー・ロビー・ラウンジ・サロン・ホワイエは室として求められない限り、点線表記で原則室とせずオープンとする。

◆特に難しい言葉について

- 和製英語のような専門用語に関しては、とにかくびびらないこと。
= 知っている空間に置き換える。体験したことのない空間は出題されない。
ガレリア：ガラス屋根の回廊、吹き抜け廊下状の空間など。

◆仕掛けてくるだろうポイント

- 外部—アプローチが決めにくい。公園・グランドへのアクセス。駐車場多い、駐輪場多いのでピロティ。勾配屋根。
- 内部—建築中央部の吹抜けや光庭、中庭。部門の独立と共有。
- 観たことがない要求室。全く考えてなかった何かが盛り込まれる可能性も十分ある。
- exp：「動線に配慮」＝「動線に配慮してないとはいえない」提案をすれば大丈夫（減点法的解釈）

法規チェックポイント9項目 + P S：採建斜特・防延二重・敷P

採光：妻側、廊下側のD/H最重点注意

建ぺい率：70%以下の時は当たる可能性あり。特に屋外階段、庇、バルコニー等に注意。

斜線：8m以下の道路、5階建て以上は要注意。まずは2Aかつ35mのチェックをしておこう。

受水槽、屋外階段はセットバック対象なのでうっかりしないこと。

特定防火設備：面積区画と異種用途区画でのみ利用

防火設備：竪穴区画、延焼ライン、屋外避難階段で利用。

延焼ライン：延焼ラインは柱のあとに記入。3m-5mで公園、河川、道路越しも緩和。隣地境界線 + 道路中心線。

二方向避難：メゾネットは40m。採光無窓は40/20m。足りないときは屋外階段を計画 + その際は斜線注意。

重複距離：1に至る階段への距離の半分まで。無窓に注意。

敷地内通路：1階直通階段出入口から敷地内（有効1.5m以上）から道路（防災上有効な公園）までのルート

P Sヌケ：1階が特に抜けていると危ないです。

BF法は円滑化基準がベースで、集合住宅はプライベート空間なので円滑化基準も一部満たさなくてよい。公共施設系も円滑化基準で十分で指示がある場合は誘導化基準を適用する。

図面に出てこないモノ：施設案内板、点字ブロック、EV内の音声案内等が要点で使えます。

その他

- 計画の要点は、1問でも白紙は失格。
- 難しいと思う計画の要点の場合、少なくともそこだけ残して他を完全に仕上げ、時間を不用意に取られないこと。
- 難しいときは描き込み量勝負。簡単なときは丁寧な描き込みの質勝負。
- 自分がパニックになるときは回りも実はパニックになっていることを忘れるべからず。
- 上下階不一致を防ぐために
①チェックで通り芯を入れること（たかだか1分程度）②両手を使って、位置を図面上で確認すること
- 検算方法、最終図面のあるなしチェック方法、図面のエスキース、問題文でのクロスチェックの確立を。

最後に

■試験とは、究極、時間との勝負です。**時間に追われる展開ではなく、時間を追う展開を心がけてください。**

ミスは必ずします。ミスをしている前提で、見直しの際は、できている確認ではなくミスを探す視点でチェックしてみてください。

そして力を出し切るには平常心。深呼吸すること。これは80%の力で臨み、20%の余力を残して戦うということと同義です。

ミスをなくすことはできないので、チェックする時間をつくること。

これだけで合格率は10%上がることを最後まで忘れずに。

健闘を祈る。祈合格。

2021年9月30日

製図試験.com代表 山口 達也